

シンボルマーク

1 島根県スポーツ協会シンボルマークについて

このシンボルマークは、島根県章を囲んで集う島根県スポーツ協会の和と団結を表し、上に大きく伸びて向かうラインが島根県スポーツ協会の向上と発展を象徴しています。

マークは職員記章として石野眞島根大学名誉教授が作製され、現在も職員は着用しており長く親しまれています。平成22年にはこのマークをもとに協会旗が完成、記念式典や表彰式等では島根県旗とともに掲げられています。

なお、島根県スポーツ協会創立100周年記念誌の表紙も石野眞氏がデザインしたものです。



石野眞氏のデザインで
作製されたシンボルマーク



作製当時の島根県体育協会旗



現在の島根県スポーツ協会旗



職員記章

作製者 石野 眞氏

昭和12年鳥取県米子市生。島根大学教育学部卒業。島根大学教育学部、東京芸術大学、スイス国立ペスタロッチ教育研究所、スイス国立ベルン美術館に学び、母校の島根大学で40年、デザインと美術教育の研究、教育に従事した。島根大学大学院教授を定年退職後、鳥取短期大学デザイン専攻教授を経て、現在は島根大学名誉教授。平成29年11月秋の叙勲で「瑞宝中綬章」を受章。